

L11b 只見火球の観測

下田 力 (日本火球ネットワーク)、佐藤 孝悦 (日本火球ネットワーク)、 司馬 康生 (兵庫県立白鷺工業高等学校)、大塚 勝仁 (東京流星観測網)

2000年12月27日18時41分09秒(JST)、新潟県～福島県境付近に明るい火球が出現した(只見火球:JN001227)。日本流星研究会火球部門には、この火球について、約20件の目撃報告があった。また、日本火球ネットワーク(JN)の写真観測点2ヶ所に加えて、栃木県から山野井理氏により偶然に撮影され、合計3ヶ所からの写真データが得られた。宮城県白石市の井上弘行氏は、火球監視TVカメラの視野外に出現した火球によるフラッシュを元に、出現時刻を上記のように正確に求められた。我々は、これらのデータから、この火球の軌道を求めた。その結果、この火球は上空21km程度以下まで光っていたことがわかった。これは、JNの7年間の活動を通じて、初めて隕石が地上に落下したと結論できる例である。落下領域は、福島県金山町のスキー場(フェアリーランドかねやま)の北側に広がる山林と農地である。有志による隕石の最初の搜索は2001年4～5月に行われたが、未発見である。なお、この火球の日心軌道は、アモール型小惑星2000LY27に類似している。